



みんなのひろば

楽しい学校

将来は喫茶店で訓子府に笑顔を

竹田 ^{ねね}音心さん (訓小4年 東町)

今年の4月から仲良し会の書記をしています。訓小のみんなが楽しく通学できる学校づくりに全力で挑戦したくて、立候補しました。

学校の授業では、図工が好きです。今までの作品は家でコレクションしています。

バレーボールとダンスを習っていて、最近では、「秋だよ！銀河公園まつり」でダンスを発表しました。これからも2つの習い事を両立できるようにがんばりたいです。

将来の夢は友達と3人で訓子府に喫茶店を開いて、訓子府を笑顔でいっぱいになりたいです。

人いきいき

食堂を通して人とのつながりを

「かーちゃん食堂 のんき」

7月29日に地元の野菜を使った家庭料理を中心に提供する食堂を、福野でカフェ (OiCafe) を経営する生出成子さんと共に農業女性の4人グループ「野菜倶楽部」が開店しました。代表の佐藤裕美子さんは、「のんびりと過ごせる場所の提供を通して、楽しみながら人とのつながりを大切にしたい」と話していました。

「今年の1月に生出さんから、『カフェに人が集まり、町を盛り上げるようなことに取り組みたいと考えているので、野菜倶楽部のメンバーに協力してもらえないか』と相談がありました。以前から野菜倶楽部の活動の一環として、食に関するイベントを行いたいと考えていたので、4人で相談した結果、生出さんと5人でカフェの営業日以外にランチを提供する『かーちゃん食堂のんき』として開店しました」

「3月から準備を始めて、7月と8月に1回ずつ、町内の農家の方に野菜の提供を協力してもらい、開店することができました。初日は、旬の夏野菜を豊富に取り入れた無水カレーを提供しました。猛暑の中での調理は大変でしたが、町内外から大勢のお客さんが来てくれて、カレーを完売することができました。現在は不定期の営業ですが、次回は11月に開店予定です。今後も地元の野菜を豊富に取り入れた家庭料理を中心に、提供していきたいと考えています」

「大勢の方の協力の下、野菜倶楽部の活動を始めたときからの念願だった食堂を開店することができ、とてもうれしく思います。今後も自分たちが楽しみながら、店名のように家庭料理を通して、誰もが気軽に集まってのんびりと過ごせる場所をめざしたいです」



みんなのひろば

短歌 訓子府短歌会

用意したはずの肥料をまき忘れ
大根蒔き終へあとに追肥す
東幸町 中島 玲子

黒くろと遙かなる光を秘め持ちて
旧石器時代を黒曜石は語る
東幸町 吉野 良華

認知症いずれわれらも罹りうる
どちらが先か八十路の夫婦
旭町 瀬谷 隆夫

認知症人ごとの様に思へども
ヒタヒタ迫る歳になりたり
日出 山内スミエ

置き場所を忘れることの多かりき
あちこち探す自分が居りて
西 富 山本 祐一

あーあのさあれど置いたあれあそこ
そうかあそこか俣わからん
清 住 太田 豊

「ありがとう」ご近所様の見守りて
母はこの町この家に居れ
西幸町 乃里子

ポン友と亡夫の語らひ懐かしや
满面笑みのジグザグ会話
大 町 佐藤 幸子

「認知症治りますヨ」の本を手に
どこまでだった気付き居眠り
大 谷 昆野 範雄

— 表紙から —

バッタを捕まえたよ！

8月29日に行われた「わくわく園の秋の遠足」の写真です。

この写真をプレゼントしますので、ご希望の方は10月27日(金)までに、役場総務課窓口へお越しく下さい。

